

議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年10月28日（金） 19時30分～ 21時05分
開催場所	吉川町公民館
参加市民数	14人
出席議員	藤本幸作（班長） 泉 雄太（司会） 穂積豊彦 内藤博史 堀 元子 板東聖悟 吉田克典 岸本和也（記録）
市民からの意見等	<p>(1) イノシシ等の柵の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元負担は発生するのか。 ・申請にはどのような条件があるのか。 ・行政から設置計画の指針(本年度〇〇地域のような)は示されないのか。 <p>(2) 政務活動費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸本議員の政務活動費返還に関して説明を求める。 ・政務活動費そのものがいらぬのではないのか。 ・先に政務活動費をもらうことがおかしいのではないのか。民間では、領収書を提出して初めて支出されるものである。 ・今回の返還は不正でなかったとしても再発防止に向けて基準づくり等の議論を進めて欲しい。 <p>(3) ごみ処理の民間委託について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定までの説明や契約しようとしている内容の説明が一切ない。 ・保健衛生推進協議会にも一切相談がなかった。 ・資料に出されている金額等についても頭の額だけで詳細な内訳も示されていない。 ・プロポーザルの期間が短く、不信感がある。車の量・交通の安全の問題・環境の問題等十分に考えて頂きたい。 ・大栄環境へ向けて、朝の6時28分から約10分間で8台の大型ダンプが通った。その間に反対向きへも7台が通っている。 ・循環型社会創造研究会も非公開で行われており、このことこそが公平性を欠く大きな問題ではないのか。 ・高砂でも処理施設を造ろうとして住民の反対により、計画が無くなった。契約直前で話が消えている自治体もあるはずであり、なぜ住民が反対しているのか、議会もそういったことを訴えて行って欲しい。 ・市は市民の賛同を得ずに進めようとしている。二元代表制であり、市民の声を聴いて届けるのが議員である。議案として

	<p>出されなくても、議会として行動すべきである。</p> <p>(4) ゴミの処理は全住民に係わることであり、出し方等についても毎日のことなので丁寧な説明が必要である。</p> <p>(5) ゴミの指定袋の時も神戸のまねをして作っているが、今回急に変更が決まった。保健衛生推進協議会からは前々から指摘していたがきっちりとした説明がなされていない。</p> <p>(6) 水道管の破裂があったが、市では約 700km の管理で水道管は耐用年数 30 年と聞いている。年間 7~8km 分の修繕予算であれば、修繕が間に合わないのではないか。</p> <p>(7) 花屋敷ゴルフ場前が非常に暗く危険であるが、地域で費用を出さなければならないのか。防犯灯と道路照明の区別がわかりにくい。子供達の安全を守っていくためにも考えて欲しい。</p>
<p>そ の 他 特 記 事 項</p>	<p>・消防団員安全装備品等助成事業の採択を受けた反射ベスト購入費に関して、消防団員は生命、財産を守る貴重な人材であるため装備の充実をお願いしたいという要望があったが、その際に枚数・単価・配布方法について質問があり、市当局にお伝えし、市議会だよりで回答する旨返答している。</p>

上記のとおり議会報告会を開催いたしましたので報告します。

平成 28 年 1 1 月 2 2 日

三木市議会議長 様

第 1 班 班長 藤 本 幸 作 